

# はじめに

ここに「令和6年版福知山市統計書」を刊行いたします。

この統計書は、本市の人口・経済・社会・教育・文化など各分野の基本的な統計資料を総合的に収録したものです。

急速に進む人口減少や少子・高齢化、環境問題など、社会・経済の変化を的確に把握するために統計の役割はますます重要なものとなっています。

本書を各方面における諸施策や事業の立案、学術研究などの基礎資料として、ご活用いただければ幸いです。

年々内容の充実を図っておりますが、今後とも皆さまのご意見をいただきながら、更に改善してまいりたいと考えております。

最後になりましたが、資料の提供をいただきました関係機関をはじめ、日頃から各種統計調査にご協力いただいております皆さまに対し、心からお礼申し上げますとともに、今後ともご協力をお願いいたします。

# 福知山市市民憲章

## 幸せを生きる

わたしたちは、ふるさと福知山を“幸せの舞台”にします。

水清い由良川、緑濃い山々、行き交う人々。

生き生きとして、伸び伸びとしたふるさとをつくります。

わたしたちは、ひとりひとりの中に、

人生を自由で美しいものにする力を持っています。

そのわき出る力を集め、四季を愛し、命を尊び、

共に幸せを生きます。

平成3年4月1日制定

## 市民憲章とは

毎日の生活の中で、福知山市民一人ひとりの心のよりどころとなり、行動の礎になるよう定められた市民生活の規範となるものです。

この憲章は、よりよい地域づくり、魅力あるふるさとづくりのため、市民一人ひとりが、互いに助けあい思いやりあるあたたかいまちづくり、文化の香り高い魅力的なまちづくりをすすめる願いがこめられています。

## 憲章文の解説

“幸せ”とは何か。“わたし”は、どんな時、幸せを感じますか。どうすれば“みんな”が幸せを感じることができるでしょうか。

幸せづくりについて考え、語りあい、励ましあって行動する、これがこの憲章文のテーマです。

まず、自分の人生を自由で美しいものにできるわたしから、幸せづくりをはじめましょう。そして、その幸せづくりを身近な人たちと一緒に広げましょう。

一人ひとりから家族へ、地域へ、そして市全体へ、幸せづくりの輪を広げていきましょう。そうすることが、みんなが“幸せを感じるまち”につながります。また、“みんなが誇れるまち”につながっていきます。

まずは、わたしたちから、身近なことから、幸せづくりをはじめましょう。

## 凡 例

- (1) 本書は原則として福知山市内を区域として集計したのですが、例外的なものについては各々注釈を加えています。
- (2) 本文中、「年（次）」とあるのは、1月～12月の1年間について、「年度」とあるのは、4月～翌年3月までの12か月間について数値を収録しています。
- (3) 数値の単位未満については、原則として四捨五入をしていますので、総数と内訳が一致しない場合があります。
- (4) 統計表中の符号の用法は下記のとおりです。
  - 「0」 ……該当数を四捨五入した結果、単位未満に満たないもの
  - 「－」 ……皆無または該当数値なし
  - 「…」 ……不詳、不明、算出不能の数値
  - 「x」 ……該当数値の公表を差し控えたもの
  - 「△」 ……減少、負数
- (5) 本市は、平成18年1月1日に合併したため、原則として平成17年12月31日以前は、旧福知山市域の数値で、平成18年1月1日以後は現在の市域の数値です。例外的なものについては各々注釈を加えています。